

日 時	2025 年 2 月 13 日（木） 午後 1 時 00 分～午後 2 時 15 分
視 察 先	福岡県福岡市 ハチドリソーラー(株) 事業代表者 池田将太氏
調査項目	ハチドリ電力の取り組みについて
調査内容	1. グループ会社の取り組み（株式会社ボードレス・ジャパン） 2. ハチドリ電力事業概要・取り組み 3. 今後の展望 4. その他
所 感	【グループ会社の取り組み】 (株)ボードレス・ジャパンは、貧困・食糧問題・衣料ロス・少子高齢化等の社会問題をビジネスにより解決していくという理念のもと設立され、世界 13 か国で 50 のソーシャルビジネス事業に取り組んでいる。その中で、ハチドリ電力は、地球温暖化解決を目指す事業を担っている。 事業の持続性を鑑みると、社会共通課題に対し、ビジネスとしてのアプローチする手法は大変有意義と感じた。 【ハチドリ電力事業概要・取り組み】 二酸化炭素を排出しない自然エネルギーのみを販売している。主には、太陽光発電によって発電された電力を販売している。さらに、事業収益の一部を太陽光発電施設建設にあて、発電量を増やしている。また、その売り上げの 1% を社会貢献活動に寄付している。神鍋地域との連携もなされ、当市も関係の深い取り組みとなっている。電気販売に関しても、二酸化炭素排出削減にどれだけ貢献しているのか、請求書に明示することにより、利用者の意識向上も目指している。 電気料金は、手数料を抑えることにより通常より低く設定しているが、現時点では利用者は限られている。利用者増加に向けて動かれているが、課題を感じた。 【今後の展望】 神鍋地域との連携にもみられるように、各課題に対して社会貢献することにより PR を行って、共感者を増やし利用者増を目指す。 地球温暖化の問題は結果が見えにくい面もあり、社会全体での問題意識の共有・持続性に課題があると感じた。 【まとめ】 社会問題解決には、持続的な取り組みが必要と感じるので、たとえ現在のアメリカのように世論が逆風になっても、地道に取り組んで欲しいと感じた。